



# 議会だより

安全+第一  
ヤマダ・グリーンシステム株式会社



トマト  
は熟  
トマト  
売れど封

## おもな内容

6月定例会	2
一般質問(8人)	5
委員会活動報告	16
どっこい、この町に生きる	18

初出荷に臨む新規就農者の検垣さんと農協の池本さん

# 新型コロナウイルス対策など

# 4,786万円を予算化

5月臨時会での補正予算は4ページに掲載

## おもな新型コロナウイルス対策事業(6月補正)

### チャレンジ企業支援補助金 300万円

日南町チャレンジ企業支援補助金要綱に新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた町内事業者に対し、感染予防に必要な施設改修経費や、新たな事業展開によりコロナ感染症を克服するための経費などを追加し、幅広く支援する。補助率：2/3(上限額100万円)

### 原木安定供給等緊急対策事業 300万円

コロナウイルスの感染拡大により、市場における木材需要が急激に減少しており、新たな販売開拓、販売促進を支援して原木の安定供給を図る。

### 地域子育て支援事業 42万円

子育て支援における新型コロナウイルス感染症の拡大防止、臨時休校時の放課後児童クラブの開設費用。

### 小中一貫教育事業 36万円

臨時休校時等に、インターネット環境の無い家庭に対してモバイルルーターを貸し出し家庭学習の充実を図る。

日南町議会の6月定例会は、6月16日から23日までの8日間の会期で開かれました。一般質問は初日から2日間にわたって行われ、8人の議員が登壇し執行部に所信を問いました。執行部から提案された条例の制定・改正、令和2年度補正予算など全8議案は原案のとおり可決しました。

また最終日には、地方財政の充実・強化を求める意見書など2件を発議し国へ提出しました。

### 議決したおもな議案

#### 過疎計画の一部変更(追加)

- ・サイクルロゲイニング運営委託事業
- ・行政ウェブサイト更新事業
- ・桜の苑大規模改修負担金

#### 条例の制定・改正

#### 日南町税条例の一部改正(専決)

コロナウイルス感染が納税者に及ぼす影響を緩和するため、徴収猶予、寄附金控除、住宅借入金特別税額控除等の特例を規定する。

#### 日南町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定

町長や職員などの地方公共団体に対する損害賠償責任について、損害賠償責任の一部の免責に関し必要な事項を定める。

### 財産の取得

- 畜産ドリーザー10t級 1台
- 契約相手 コマツ山陰株式会社米子支店
- 契約金額 1,294万7千円

### 一般会計補正予算

- ◆防災対策事業(200万円) 避難所整備事業の要望増加による補正
- ◆青年結婚・Uターン促進事業(40万円) 結婚や出産を機会とした若年層のUターンを促進するための「にちなん新生活応援奨励金」の創設
- ◆住民基本台帳ネットワークシステム運用事業(307万5千円) 通知カード・個人番号カード関連事務委任に係る委託料
- ◆耕地災害復旧事業(1,000万円) 令和2年4月豪雨災害による農地及び農業用施設災害復旧事業費
- ◆公共土木施設災害復旧事業(1,060万円) 町道花見山線道路災害復旧工事費及び町道生山福長線排水路復旧工事費

- ◆住宅管理事務(220万6千円) 町営住宅及び特定公共賃貸住宅の修繕に係る経費の増額
- ◆経営所得安定対策事業(200万円) 折渡地区で計画されている県営の土地改良事業の換地等調整業務
- ◆林業一般管理事務(1,000万円) 「新たな森林管理システム推進センター」設置負担金、原木安定供給等緊急対策事業補助金、木材団地の水源確保に向けた井戸掘削工事等への補助金

### 令和2年度6月補正予算結果

補正額	予算総額
◆一般会計(2回、3回目の補正)	
4,785万8千円 増	72億6,688万5千円
◆国民健康保険特別会計(1回目の補正)	
45万円 減	6億5,358万8千円
◆介護保険事業特別会計(1回目の補正)	
2万1千円 増	9億3,603万4千円



工事完了しなかった町道花見山線

一般会計補正予算を可決するにあたり、次の意見を附しました。(要旨)

①公共土木施設災害復旧事業(町道花見山線)は令和元年度中に工事が完了しなかったために、一般財源を投じて実施せざるを得なくなった。今後は、事業の年度内完了に務められたい。

②木材団地水源確保緊急対策事業は、予算に計上されないままに執行され、予算の原則及び補助金等交付規則に反する。緊急性があつたとはいえ、規則を遵守されなかつたことは遺憾である。今後は、予算及びその議決の重要性を認識され、適切な事業執行を求める。



町政のここが聞きたい

**問** Jクレジットの販売目標で  
2つの計画数値が整合していない

**答** 最終的には私の判断



大西 保 議員



2つの計画数値の不整合

**答** 第3期環境計画では、第2期計画後半の販売量の伸びや東京五輪の開催など環境への関心の高まりなどにより販売が増加することを見込み全量を増加する目標であったが、令和2年3月

**問** Jクレジットの販売  
目標計画について  
環境計画とまち・ひと・しごと創生日南町総合戦略の2つの計画では、販売目標数値が整合していない。  
**答** 環境計画の最終年度（令和4年）で累計6406tとしている。総合戦略では最終年度（令和6年）2000tとなっているが、令和2年から6年までの単年度の計画数値はいくらなのか。

**問** 計画数値の決定者は  
総合戦略では年400tである。現状（過去2年間625t、529t）を踏まえた計画数値にしては低すぎるのではないかと、町長が決定したのか。  
**答** 最終的には私の判断である。セントラルファーム農場の4月以降の状況について

**問** 地域の要望にそった  
地域おこし協力隊の募集は

**答** 事業実施に合わせた  
人材募集に努める



近藤仁志 議員

**問** 公設塾まなびや縁側  
の状況は  
本年度新規事業に日野郡ふるさと教育がある。その目玉事業として公設塾まなびや縁側が運営されているが、その執行状況は。

**答** 町長  
ポリウムと目的がはっきりしていたらプラスαは新たに作っていく方法もあるので、基本的にはやりたいと思っている。

**問** 地域おこし協力隊の募集  
地域や法人が課題解決のための人材を要望したら、町として募集してもらえるか。

**答** 中村町長  
まちづくりに必要な人材を地域おこし協力隊制度を活用して募集していきたいが、目的をもつて従事していただくことが最も重要であると考えている。事業実施に合わせた人材募集に努める。

**問** 地域おこし協力隊の活用  
地域おこし協力隊制度ができて10年が過ぎ、本町でも多くの人に活用してきた。多様な知識や技術を持った若者が地方に関心を寄せている今、日南町が真に欲する人材を募集する方法も必要と考えるか。

**答** 伊田教育長  
令和2年4月から、公設塾まなびや縁側を開塾し、6月1日予定のグラントオープンに向け日野郡出身の高校生や日野高生を対象に体験活動を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響等で9月に延期。現在無料のお試し期間として運営している。

**問** 教育長  
日野高校魅力向上推進協議会やワーキンググループを実施し、日野高校の魅力向上に向けた取り組みの検討や情報発信、改善

**問** 日野高校魅力向上  
推進事業は  
その前身的事業として日野高校魅力向上推進事業が行われていたが、その検証はなされたか。



塾生に寄り添った対面指導

**問** 大人の意識改革の  
糸口は  
3月定例会の答弁で大人の意識改革も必要と言われたが、その糸口はどこにあるか。

**答** 教育長  
今年度より、県と市町村が進めている小中高学校ふるさとキャリア教育のビジョンの中に、コミュニティ・スクールと連携・協働した取り組みの推進も含まれている。今後、地域の人材や文化財、自然等を活用するカリキュラムの検討により、エコツーリズム活動と連携したふるさと教育も可能と考える。

**問** 飼育頭数の報告について  
飼育頭数の1月から6月までの増減は。

**答** 町長  
飼育頭数報告により頭数を把握しており、1月から5月までの実績は、協約書通り8500頭未満を順守している。

**問** 意見交換会の予定は  
「河川の水質悪化に関する意見交換会」開催の次回開催予定はいつなのか。

**答** 町長  
報告すべき事案が出た際や、関係者からの要請により適切な時期に行う。

**問** 改善計画は  
浄化設備の改善・更新の進捗状況は。

**答** 町長  
浄化設備の改善・更新は、引き続き検討をされている。

**問** 農場の窓口は農場長で変更はない。  
農場の窓口は農場長で変更はない。

**答** 町長  
大人の意識改革の糸口は、まさにコミュニティ・スクールの導入・充実にあると考える。目標やビジョンを共有するために議論を重ね、学校と地域の人々が協働して活動すること、大人の意識改革に繋がると考える。

**問** 策等について協議を行っている成果も見られる反面、課題も多くあり生徒の確保には繋がらず、県教委による日野高校のあり方が検討されると予想される。

**問** 他活動との  
組み合わせは  
コミュニティ・スクールやエコツーリズム活動等と一体となった取り組みは考えられないか。

**答** 教育長  
今年度より、県と市町村が進めている小中高学校ふるさとキャリア教育のビジョンの中に、コミュニティ・スクールと連携・協働した取り組みの推進も含まれている。今後、地域の人材や文化財、自然等を活用するカリキュラムの検討により、エコツーリズム活動と連携したふるさと教育も可能と考える。

町政のここが聞きたい

**問** 林業事業者の休業支援を

**答** しっかり体制を作り支援する



岡本健三 議員

**問** 創造的過疎のまちへの  
取り組み方針と具体策は

**答** 働く人材と  
就業の場の確保を進める



坪倉勝幸 議員

**問** 「新しい生活様式」の実践により飲食店、小売店などには従来



現場で活躍する林業用ハーベスタ

**問** 応援金継続を

**答** 木材価格や木材需要の回復を待ちながら、当分の間は有利な国県事業を活用し、なお不足する部分は単町事業の新設など検討していく。商工会でも新たに1名を雇用しており、雇用調整助成金申請の支援をしていく。

**問** コロナ対策に林業の休業支援を

**答** 新型コロナウイルスの影響で木材市況が悪化している。国の雇用調整助成金に町が上乗せし、事業者の休業を支援しては。

中村町長



シルバー人材センターの作業

**問** 短時間で働くことのできる仕組みづくりの検討を進めている。

**答** 町長

**問** 高齢者の就業促進

**答** ハローワーク、商工会と連携した事業展開に取り組み方針でインターネットを活用した企業紹介、お仕事フェア、インターシップ事業の推進を計画している。

中村町長

**問** 求人と求職のミスマッチの解消

**答** 町内には仕事、就職先を求めると求人される事業所の間でミスマッチがあるが、解消策は。

**問** 5月臨時会で国民健康保険の傷病手当支給が決まったが、支

**答** 今後の新型コロナウイルスに係る経済状況や給食費補助の実施状況を踏まえて検討していきたい。

**問** 国保傷病手当の充実を

**答** 学校の臨時休校など大きな影響を受けた子育て世帯支援のため給食費補助金を拡充しては。

伊田教育長

**問** 給食費補助拡充を

**答** 商工会を中心に情報収集に努め、国や県の追加支援策を含めて総合的に考え、上乗せが必要かどうか判断する。

町長

**問** 持続化給付金へ上乗せを

**答** 事業者を廃業させないための国の持続化給付金で足りない部分を町独自に上乗せしては。

上乗せを

町長

**問** の賑わいはない。事業者を支援するため、町の緊急支援応援金を6月以降も継続しては。

町長

**問** 地域おこし協力隊

**答** 地域の活性化につながる得る多様な人材を呼び込むために有効な制度であるが、受け入れの拡大策は。

町長

**問** 特定地域づくり事業協同組合制度

**答** 地域産業の担い手の確保を目的とした、国の特定地域づくり事業協同組合制度が運用開始となったが、本町としてどう取り組むのか。

町長

**問** 外国人技能実習生制度

**答** 外国人技能実習生制度による人材確保に取り組んでいるが、実績がない。今後の具体的推進策は。

町長

**問** 様々な分野で活躍できる人材の確保に向けた体制の整備と人材確保・支援を方針に、農業研修生に限らず多分野での活躍の場づくりに向けた検討を行っている。

町長

**問** 空き屋の活用と住宅確保

**答** 移住・定住促進に必要な、すぐに活用できる空き家をはじめとする住宅の確保対策は。

町長

**問** ふるさと教育の推進

**答** ふるさと教育はこれまでも取り組んできていますが、今後どのように展開していくのか。

町長

**問** 伊田教育長

**答** 国や県と共に、統一したビジョンによるふるさとキャリア教育に取り組んでいる。小学校から高等学校まで系統的な取り組みを行い、ふるさとに誇りと愛着を持ち、将来を担う児童生徒の育成を目指している。また、今年度より日野郡3町連携の「日野郡ふるさと教育」を始めた。

伊田教育長

**問** 給対象が被用者に限られ、傷病も新型コロナウイルスに限られている。支給対象を事業主へも広げ、他の疾患などにも拡大しては。

町長

**問** 水道料金減免を

**答** 事業主は報酬を決定すべき立場であり、報酬の減額を受ける側とならないので支給すべきでない。また、新型コロナウイルスに対する傷病手当金は国の支援でできた制度であり、他の疾患等への拡大は考えていない。

町長

**問** 避難計画の変更は

**答** 今後の情勢に応じて検討する。「新しい生活様式」への対応により、避難計画に変更は。

町長

**問** 「新しい生活様式」に加え、3密を防ぐための避難の分散が必要なので、避難計画の見直しと周知が必要である。

町長

問 事業継続計画の取り組みは



檀田洋一 議員

答 長期化する感染症を考慮し  
策定作業中

問 高齢者住宅の必要性について



荒木 博 議員

答 令和2年度中に方針を決める予定

昨年夏は大雨による災害を想定した応急対応や避難所運営に伴う情報伝達などの訓練を行った。災害対応と感染症予防の観点から防災対策を考えていく必要があるが、地域や関係機関と連携

答 町長  
今年はさらに新型コロナウイルス感染症対策を行った取り組みが必要では。

問 防災訓練

今年度は新たな課題が生まれてくる可能性がある中で、できることから対応していく。

答 町長  
計画に沿った訓練を平常時に行う必要性は。

問 実際に行けるのか

平成25年3月に風水害や震災を想定した計画を策定済みである。長期化する感染症を考慮し人員確保や感染症予防策などに追加し策定の作業中である。計画の内容を精査していく。

答 町長  
策定されてから時間も経っており意識の低下もあるのでは。

問 事業継続計画(BCP)

有料老人ホームやサービスポイントの高齢者住宅の建設予定はあるのか。

問 高齢者住宅の必要性

答 町長  
今は考えていない。

「有料老人ホームつくほ」が赤字になった場合は助成はするのか。

問 高齢者住宅への支援

昨年12月開設した「有料老人ホームつくほ」は定員9人に対し5人が入居中、高齢者賃貸住宅なごみの里は10戸中8戸入居中である。

答 町長  
有料老人ホームの入居状態は。

問 高齢者住宅の現状

役場、病院の職員も町外の人が増えている。新たな賃貸住宅の建設は必要だが、多様なニーズに沿った総合的な住宅の準備を進めていきたい。

答 町長  
中心地域に世帯用賃貸住宅の建設計画があるが、現在の状況は。

問 住宅施策

町道霞福塚線の改良工事は、着工からかなりの時間が経過しているが、早期に完成させるべき。

問 道路改良工事

それも含めての訓練であり、資材の分散備蓄で時間を短縮し、それぞれの役割も各々を回りながら認識していただく。

答 総務課長

避難所開設は、機動力と連携が重要では。

問 避難所開設

昨年夏は避難所運営に対して、各地域から多くの疑問や意見をいただいたので、一つ一つ解決していく。防災専門員が各地域を回って避難所運営の在り方について意見交換しながら機能を上げていく取り組みを始めた。

新型コロナウイルス感染症対策で新たな課題が出来たが、まずは命を守るための避難、避難所の在り方について、安全な運営、訓練の対策を講じていく。

答 町長

しながら方針を決めていく。毎年防災訓練をされて反省会もあるが、課題・改善点は。

問 課題・改善策

移住希望者に空き家を町で改修工事をして提供しては。

問 空き家の活用



今後の活用が問われるかすみ荘

高齢者の住まいの場として、改修又は新築を検討している。

答 町長

現在ある「かすみ荘」は、冬期の入所に使用していたが、今後の活用は。

問 かすみ荘の活用

令和元年度に実施した高齢者のニーズ調査をもとに短期入所や、日南病院療養病棟の利用形態も含めて令和2年度中に方針を決める予定。

答 町長  
令和4年度に導入予定のコミュニティ・スクールがもたらす効果は。

問 義務教育

答 伊田教育長

学校、家庭、地域の役割と責任を明確にする事は地域に信頼される学校づくり、人づくりにつながる。

問 学校運営協議会

学校運営協議会のメンバーはどのような基準で選考するのか。

答 教育長

メンバーは重要であり、学校を変えるためにどんな人が重要であるか2~3年かけて人選をする。

問 学力向上対策

平成31年全国学力、学習状況調査の結果と対策。

答 教育長

中学校国語以外は全国平均を下回る。ICT支援員の拡充、鳥取大学との連携により改善を図る。

答 町長

平成22年度に工事中、これまでに延長110mを完成している。今後保安林解除の許可を受け、無坂川の改良工事と床吉橋の改良工事を合わせて完成に4年間を見込んでいます。工事に伴う通行規制を極力少なくし、財源となる国庫補助金を確保しながら完成を計りたい。



早急な完成が求められる町道福塚線

問 保安林解除

なぜ今頃、保安林解除なのか。

答 財原建設課長

手続きの準備はしていたが、県、国からの指導で大菅阿毘線解除したのちに申請する流れで約半年遅れ9月頃の予定。

# 6月定例会審議結果

## ○可決した議案

令和2年度補正予算	一般会計補正予算（第2号）
	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	介護保険特別会計補正予算（第1号）
	一般会計補正予算（第3号）
制例の改訂	日南町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例
	専決処分承認を求めることについて（日南町税条例の一部改正）
条例の一部改正	日南町手数料条例
	財産の取得について（畜産ドーザー10t級購入）
その他	日南町過疎地域自立促進計画の一部変更について
	議案第64号令和2年度日南町一般会計補正予算（第2号）に対する附帯決議
発議	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について
	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出について

## ○否決した議案

発議	市町村が独自に定めた移住・定住促進のための事業へ支援を求める意見書提出について
----	---

## ○賛否の分かれたもの（討論・結果）

一般会計補正予算（第2号）	可決
<b>賛成</b> 岩崎昭男議員	<b>反対</b> 岡本健三議員
「にちなん新生活応援奨励金」は、県の間接補助事業を活用して実施するものであり、何ら問題はない。	コロナ対策は早急に実施すべきだが「にちなん新生活応援奨励金」は多様な移住者へ対象を広げべき。
（大西、古都、荒木、櫃田、岩崎、近藤、坪倉）	（岡本、久代）
市町村が独自に定めた移住・定住促進のための事業へ支援を求める意見書提出について	否決
<b>賛成</b> 久代安敏議員	<b>反対</b> 坪倉勝幸議員
鳥取県が奨める事業はIJUターナー者が夫婦であることが絶対条件であり個人の尊厳を尊重し、もっと使い易い制度にするべきである。	町の施策に県の支援を求める主旨は理解できるが、県が起案した新しいライフステージ補助金に反対したうえでの意見書提出には反対である。
（岡本、久代）	（大西、古都、荒木、櫃田、岩崎、近藤、坪倉）

## 問 休業や自粛要請に十分な補償を

## 答 雇用の維持と事業の継続で誰ひとり取り残さない



久代安敏 議員

**問** 新型コロナウイルス感染症緊急支援対策  
大原則は、「休業や自粛要請と補償はセットである」ということだ。町民の暮らしと命を守るために一番大切なことは何か。

**答** 中村町長  
感染拡大の防止とともに、雇用の維持、事業の継続、生活に困っている世帯や個人への支援が最も重要であると考えている。

**問** コロナを教訓に  
全国知事会では、コロナを教訓に大都市部への過度な人口集中が危険であると、地方への人口分散の必要性を強調しているが。

**答** 町長  
大都市部への過度な一極集中に伴うリスクを減少・回避することの重要性を再認識するとともに、テレワークや在宅勤務など多様な働き方が評価されつつある。都市と地方の更なる連携・補完が期待され、地方への人の流れをより大きなものにする中で人口減少の抑制に繋がるよう期待したい。

**問** 日南町の経済対策  
木材価格の暴落に対応するために、日南町森林組合に「原木

**もつとくわしく 質疑応答**

**木材団地**  
造成の経過は。残土は。最終的な詳細設計の段階。当初の予定通り残土をなくす。建物の完成予定は。防蟻防蟻の工場の8月末完成する。

**カンファート団地**  
修繕の進行状況は。屋根にアスベストがあり工法の変更が必要。現在見積中。7月発注予定。

**林道窓山線**  
オオサンショウウオの保護団体の話し合いの進捗は。着工の目途は。工事中止後、地域住民や保護団体と話し合った。今後、研究者の意見を踏まえて保護指針等を策定しながら、早急な方向性を出し、再度協議する。

**にちなん新生活応援奨励金**  
奨励対象者について。39歳以下で、しかも、結婚3年以内、妊娠中、就学前の子どもの条件がある。移住者を選別するように誤解を生まないか。

**日南町の子ども教育在り方検討会**  
検討事項は。0歳から高校生までの教育の再検討。小中一貫教育について踏み込むのか。保小中一貫教育の在り方を明確にする。

**災害復旧工事の残工事町道花見山線**  
元の契約額と残工事の額、それぞれの財源は。契約2,730万円、災害復旧事業債（補助率89%）。残工事は950万円。一般財源。

**水量減でオロチが井戸を掘削**  
既に完成しているのでは。着工を議会に説明したか。完成している。説明していなかった。お詫びする。

**オロチへの原木を中心とする量を適正値に戻すことにより価格の維持にも繋がるため、山主、林業事業者の経営支援となる。**

**町有林の皆伐・新植**  
当初予算で計画している町有林の皆伐・新植(10ha)は、予定通りか。

**坂本農林課長**  
材価が低迷しているが予定通り、事業を実施する。

**日南福祉会との連携強化を**  
鳥取県は、コロナ対策として「特養ホーム」などの体制整備に補正予算を組んでいる。日南福祉会「あかねの郷」との連携は十分に図られているか。

**町長**  
鳥取県では、「新型コロナウイルス対策オンライン面会支援事業」「介護福祉サービス提供体制確保事業」があり、あかねの郷で現在実施しているスマートフォンアプリを利用しているか。

**町長**  
安定期供給等緊急対策事業」を予定しているが、この事業の取り組みは、山主や林業事業者の経営を支える仕組みになるのか。

**町長**  
オロチへの原木を中心とする量を適正値に戻すことにより価格の維持にも繋がるため、山主、林業事業者の経営支援となる。

**町長**  
新型コロナウイルス対策への具体的な取り組みの説明を求める。また日南病院は、5月の臨時会の補正予算だけで、患者対応が十分にできるのか。

**中曾病院事業管理者**  
新型コロナウイルス対策については、協定としての取り組みは行っていない。新型コロナウイルス対策のための消耗品類の調達、施設内の設備の整備などは、備蓄分を含め補正予算の範囲内で進めており、当面対応可能と考えている。

**日南病院のコロナ対策**  
新型コロナウイルス対策への具体的な取り組みの説明を求める。また日南病院は、5月の臨時会の補正予算だけで、患者対応が十分にできるのか。

**完成したオロチの井戸**



コロナ対策で導入した防護服など

## 6月定例会で下記の意見書を採択し、 内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました（要旨掲載）

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 社会保障、感染症対策、防災、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財一般財源総額の確保を図ること。
2. 子ども子育て支援新制度、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズへの財源確保を的確に行うこと。
3. 新型コロナウイルス対策として、新たに政府が予算化した「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」や「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」については、2020年度の補正予算にとどまらず、2021年度予算においても、国の責任において十分な財源を確保すること。
4. 地方交付税における「業務改革の取組等の成果を反映した算定（従来のトップランナー方式）」は、その廃止・縮小を含めた検討を行うこと。
5. 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円について、引き続き同規模の財源確保を図ること。
6. 2020年度から始まる会計年度任用職員制度における当該職員の処遇改善に向けて、その財源確保を図ること。
7. 森林環境譲与税の譲与基準については、林業需要の高い自治体への譲与額を増大させるよう見直すこと。
8. 地域間の財源偏在性の是正に向けては、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な改善を行うこと。各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証し、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応を図ること。
9. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、市小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対策を講じること。
10. 依然として4兆5,000億円強と前年度を超える規模の財源不足があることから、地方交付税の法定率を引き上げ、臨時財政対策債に頼らない地方財政を確立すること。

### 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

1. 計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。



議場の消毒

15日	9日	2日	23日	19日	18日	17日	16日	8日	4日	11日
議会広報常任委員会	全員協議会	議会広報常任委員会	議会広報常任委員会	6月定例会本会議	6月定例会本会議	6月定例会本会議	6月定例会本会議	6月定例会本会議	6月定例会本会議	臨時会・全員協議会
(7月)						(6月)			(5月)	

### 議会活動報告

## 請願および陳情の審査結果と討論

提出のあった請願と陳情は、6月定例会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。  
なお、賛成・反対とあるのは、請願と陳情の原案に対する討論と採決の結果です。

令和2年請願第2号	提出者	審査意見	本会議
日本軍「慰安婦」問題の真の解決を求める意見書を提出するよう求める請願	新日本婦人の会鳥取県本部長 山内淳子	2015年の日韓合意により、最終的かつ不可逆的な解決を確認している。	不採択
<b>賛成</b> 久代安敏議員 歴代の内閣、政府がとってきた慰安婦問題に早急にけじめをつけなければいけない。 (岡本、久代)		<b>反対</b> 櫃田洋一議員 日韓両国間で最終的かつ不可逆的な解決として共同記者発表している。 (大西、古都、荒木、櫃田、岩崎、近藤、坪倉)	
令和2年請願第3号	提出者	審査意見	本会議
選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書提出を求める請願	新日本婦人の会鳥取県本部長 山内淳子	現行の民法では夫婦どちらかの姓を選択することができるため、女性差別には当たらない。	不採択
<b>賛成</b> 久代安敏議員 国際社会では婚姻の際、選択的夫婦別姓が常識となっている。最高裁判所が判示したように、国会は喫緊の課題として民法の改正をすすめるべきである。 (岡本、久代)		<b>反対</b> 古都勝人議員 2015年12月、最高裁判所において、法に基づく判決であり、不当ではない。 (大西、古都、荒木、櫃田、岩崎、近藤、坪倉)	
令和2年請願第4号	提出者	審査意見	本会議
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	鳥取県労働組合総連合議長 田中 暁	最低賃金の改定は、地方や中小企業への影響を考慮して行うべきであり、急激な引き上げは地域経済の混乱を招きかねない。	不採択
<b>賛成</b> 岡本健三議員 鳥取県など地方の最低賃金の上昇率はここ数年3%以上で推移し東京との差はわずかに縮まっているが、人口減少を抑えるまでには至っていない。 (岡本、久代)		<b>反対</b> 大西 保議員 鳥取県では、4年間で約13%上昇し、10年間では19%。約2割も上がっている。全国一律になれば、鳥取県には逆に仕事なくなる。 (大西、古都、荒木、櫃田、岩崎、近藤、坪倉)	
令和2年陳情第3号	提出者	審査意見	本会議
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口一樹 日南町職員労働組合 執行委員長 緒形明朗	社会保障や新型コロナウイルス対策として、政府に十分な財源の確保を求めるのは妥当である。	採択 (全会一致)
令和2年陳情第4号	提出者	審査意見	本会議
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情	鳥取県教職員組合西部支部 支部長 内田浩文 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 深田卓也	教育の向上のために、教職員定数改善と財源の確保は必要である。	採択 (全会一致)

経済福祉常任委員会 -6月18日-

全員協議会

社会福祉法人日南福祉会の現状等について 聞き取り

\*外部機関によるコンサルティングの内容と結果とそれに基づいた改革の取り組み  
\*新型コロナウイルス感染症による問題点と対応

- ◆デイサービスへの影響
  - ・県外からの規制、来客者があった場合2週間の利用自粛。
  - ・4/22から5/13まで利用時間と利用人数を調整。
- ◆経営における影響と問題点
  - ・在宅サービスを制限したことにより4月、5月前年比660万円の減収を見込む。
  - ・感染予防に必要な消耗品の適正在庫を見極め、確保。
- ◆長期の面会謝絶による入居者と職員の状況
  - ・重度の方が多く、日々の様態に注視した。体調を崩される利用者はなかった。
- ◆今後に備えたりリモート面会設備の準備等の考え方
  - ・LINEを使用してのビデオ通話で問題解決を図った。現時点ではこの方法が最良と考える。
  - ・業務上も併せタブレット等の機器や通信環境の整備。



あかねの郷のリモート面会

介護報酬改定の度に厳しい経営を求められる条件を押し付けられる現状ではあるが、利用者、職員に寄り添い日南福祉会の底力を発揮されたい。

中心地域整備に関する調査特別委員会 -6月19日-

「道の駅にちなん日野川の郷」の運営状況と、中心地域の貸付地および住宅施策について調査



- ② 中心地の貸付地は契約期限までに返還を
  - 答 令和3年3月31日の契約満了による貸付地返還(更地渡し)は、日南プレカット協同組合から具体的な方法が示されていないとの報告。
  - 答 現在の建物はJA西部農協が農産物保管等に使用しているが、今後も使用したいとのこと。

議会は、期間があと9ヶ月であるのでスピード感を持って取り組む事と返還のための具体的な方針を早急に決めることを求めた。

- ③ 中心地域の住宅施策は
  - 答 住宅不足への対応は、あらたな分譲地の造成や空き家対策等、早急に町内全体を見ずして検討していきたい。



平成30年度 中心地に建設された民間の世帯用住宅(6戸)

- ① 道の駅の運営状況
  - 駅長が4月下旬に退職し不在であるが、後任を早急に決めるよう要請している。
  - 出荷者協議会会長には中村健治(白谷工房)さんが就任された。
  - 直売所は、対前年比102%、レストランは、107%と増加したが、今年は4~5月の売上が対前年同月比直売所36%、レストラン37%とコロナ禍の休業要請(4月22日~5月6日)及び移動自粛により大幅に落ち込んだ。6月からは徐々に回復している。

売上げの減少に対する支援(国、町)の状況は  
答 持続化給付金は、サクセス全体で減収額を計算するので対象とはならない。町の休業要請協力金は支払っている。

4月以後に開催した全員協議会について報告します。

◆4月23日  
◆新型コロナウイルス感染症防止にかかる対応  
全国に非常事態宣言が発出されたことに伴う本町の対応(経済対策を含む)について説明を受けた。

◆議会議規則の一部改正  
不測の事態により議場が使用できないときに別の場所に参集できる規定を追加。

◆新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応  
町内または近隣市町村で発生した場合の議会および議員の対応について協議。

◆5月11日  
◆「中山間地域の課題解決に関する連携協定」の締結  
本町と鳥取大学、ソフトバンク(株)が短時間労働

働制度などの4つの課題に連携して取り組む協定を締結することに。

◆企業版ふるさと納税  
企業版ふるさと納税を推進するために、(株)カールタイプと連携して取り組むことに。

◆新型コロナウイルス感染症防止にかかる対応  
経過報告および今後の町内施設の対応方針などについて説明を受けた。

◆ゆきんこ村グラウンドの芝生化事業  
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い植栽イベントが中止されることとなり、芝生化事業は延期する。

◆6月4日  
◆新型コロナウイルス感染症防止にかかる対応  
地方創生臨時交付金(6,173万9千円予定)活用事業計画および緊急事態宣言後の活動制

限緩和方針などについて説明を受けた。

◆子どもの教育在り方検討会  
0歳から高校生までの教育の在り方を検討するために教育委員会に検討会を設置することに。

◆日南町史発刊  
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う出版社の業務停滞により発刊時期が遅れることに。

◆6月19日  
◆ゴミ処理の広域化  
西部広域行政管理組合が進めるゴミ処理の広域化計画(令和14年度目標)について説明を受けた。

◆災害時の廃棄物処理に関する協定締結  
災害時等に町で廃棄物処理が困難となったときに三光(株)に協力を要請できる協定を締結することに。

◆コミュニティ・スクール  
学校運営協議会制度の令和4年導入に向けてのスケジュールについて説明を受けた。

◆6月23日  
◆日南邑キャンプ場  
指定管理業者(株)テックがフィールドアスレチック場跡地にキャンプ場を整備することに。

働することを定めた協定を締結することに。

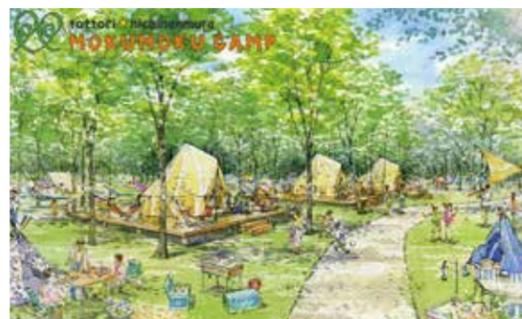
◆7月15日  
◆新型コロナウイルス感染症防止にかかる対応  
本町の6月以降の経過と今後の対応および経済対策について説明を受け、協議した。

◆TOWNSNET光化工事  
今年度実施予定の工事スケジュール等について説明を受けた。

◆セントラルファーム(株)の排水対策  
議会として引き続き協議していくことを確認。

◆町民との意見交換  
少人数で町内にかけて、町民と議員が意見交換することに。  
詳細は、今後検討する。

◆農業の収益力向上と人材育成に関する協定  
本町とトヨタ自動車(株)が農業分野における収益向上や人材育成に協



◆陳情の取り扱い  
町外からの郵送によるものは、これまでどおり資料配付扱いとする。

# 道 どっこい、この町に生きる 草



## 至福のひとときは 眼下の景色と渡る風

前田 明日花さん（多里）  
あすか



### 日南町との出会い

北海道からの進学にあたって、動物の行動を調べて、研究されている先生が鳥取環境大学におられて、その本が面白くて大学の存在を知り、思い切ってオープンキャンパスに参加して気に入りました。

入学後のゼミでは林業に関わる先生の研究室を選び、林業体験や林業者との交流を通じて、自然を保全していくにはどうするべきか興味を湧きました。

### 日南町林業アカデミーに関心を持たれたいきさつ

3年生の時日南町にゼミの視察で来て、その時こういうのができると知り関心を持ちました。3年修了時には単位も全部取れていて後は卒論だけの状況で在学中でも入っていいよと言う感じだったの、じゃあ挑戦しよう。アカデミーなら作業も知識も学べるし、卒論も林業大学校をテーマにすればいいし意義深いなあと、林業関係に就職したい気持ちも強かったの。

### 大学生活

サークルでヤギ部に所属、里山でよく飼われている動物を飼育することで里山について考えようと言うテーマが原点だったのに、ふれあい交流をしたり、近くの老人ホームに出掛けたり、除草用に貸し出したり、愛でるのが主眼になってきた。だけど、地域との交流もできて、人間形成にとって結構大きかったかな。

### 山での仕事

結構ノリで生きているので(笑)他の仕事に就きたいとは思わなかった、体力的にはしんどいけど楽しい。この間もつかいヒキガエルがいて「ヤッター」「やっとなえた」の気分。休憩時間に遊ぼうと寄せておいたのに、普段はのろいぐせに頑張っただけ逃げちゃった。本当に残念。

外で食べるお弁当も、昼寝も風が心地よく清々しい。現場で働きたい思いの要因ですね。  
**一生の仕事として**  
これからも育林に携わっていきたい

たい。下刈後に苗だけ残る姿は達成感あり、頂上付近での作業は見晴らしがよくて、景色を独り占めした至福のひとときですよ。

### 休日のお気に入り

畑を借りての家庭菜園で夏野菜の世話が楽しみ。とは言っても草ボウボウで遅く育てています(笑)。私も畑付きの空き家に住みたいけど、要修繕物件ばかりでハードルが高いんですよ。即入居可能な空き家が欲しいですね。



枝打ち作業に励む明日花さん

## 編集後記

中国に端を発した新型コロナウイルス感染症が全国、全世界に拡大している。

本町では感染者の確認はなかったものの、飲食店や旅館に営業自粛をお願いするなどの対応を迫られた。その他にも材木価格の下落などの経済的な影響もある。

新型コロナウイルス感染症の終息は未だ見えない中、しばらくは「密閉・密集・密接の「3密」を避け、感染予防しながらの生活や地域活動、経済活動を進める新しいスタイルが求められる。

町民こそって感染予防も生活や地域活動も継続的に取り組むたいものである。

坪倉 記

### 発行責任者

議長 山本 芳昭

### 議会広報常任委員会

委員長	櫃田 洋一
副委員長	岩崎 昭男
委員	岡本 健三
委員	近藤 仁志
委員	久代 安敏
委員	坪倉 勝幸